



追加型投信／海外／債券

三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ(毎月分配型) 〈愛称:グローイング・スター〉

決算・分配金のお知らせ

ファンド情報提供資料
データ基準日:2019年10月15日

三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズは、8つの通貨コースとマネー・プール・ファンドの計9本のファンドから構成される投資信託です。これらを総称して「当ファンド」、また各々を「各ファンド」ということがあります。また、「円コース」、「米ドルコース」、「豪ドルコース」、「ブラジルリアルコース」、「メキシコペソコース」、「トルコリラコース」、「資源国バスケット通貨コース」、「アジアバスケット通貨コース」の各々を「各通貨コース」ということがあります。

平素より、「三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ(毎月分配型)〈愛称:グローイング・スター〉」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて当ファンドの各通貨コースは、2019年10月15日に決算を迎え、基準価額水準、市況動向等を勘案し、当期の分配金を下記の通りといたしましたことをご報告申し上げます。

今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

分配金と基準価額(2019年10月15日)

各通貨コース (毎月分配型)	決算期	分配金(1万口当たり、税引前)		設定来分配金累計	基準価額(1万口当たり、 分配落ち後)
		今期	前期比		
円コース	第97期	25円	±0円	6,085円	6,427円
米ドルコース	第97期	70円	±0円	9,690円	8,508円
豪ドルコース	第97期	30円	-20円	9,270円	5,134円
ブラジルリアルコース	第97期	20円	-10円	11,840円	2,112円
メキシコペソコース	第77期	40円	±0円	4,260円	5,500円
トルコリラコース	第77期	25円	±0円	4,865円	3,287円
資源国バスケット通貨コース	第97期	40円	-20円	10,360円	4,076円
アジアバスケット通貨コース	第97期	60円	-30円	10,820円	7,026円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

当期の分配金について

各通貨コースは、米ドル建ての新興国の高利回り社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用を行っております。

各通貨コースは新興国高利回り社債の利子収入等が基準価額にプラスに寄与した一方で、お支払いした分配金等が基準価額の下落要因となり、各通貨コースの基準価額は上記表およびP5のグラフの通りとなっています。また、分配金額に関して、豪ドルコース、ブラジルリアルコース、資源国バスケット通貨コース、アジアバスケット通貨コースについては、当該期の収益に加え、当該期の収益以外と併せて分配金をお支払いしている状況が続いており、分配原資についても減少傾向にあります。

こうした基準価額水準や市況動向に加え、配当等収益や分配原資の状況等を総合的に勘案し、分配金の水準を引下げて信託財産の成長を図ることが投資家の皆さまの中長期的な利益につながると考え、上記表のとおり豪ドルコース、ブラジルリアルコース、資源国バスケット通貨コース、アジアバスケット通貨コースの分配金を引き下げることといたしました。

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ(毎月分配型)〈愛称:グローイング・スター〉

2019年初来の市場環境および当ファンドの運用状況について

【新興国高利回り社債の市場環境】

2019年初来の新興国高利回り社債市場は上昇しました。新興国高利回り社債市場のスプレッドの拡大等はマイナスに影響したものの、米連邦準備制度理事会(FRB)が緩和的な金融政策に転換したこと等を背景に、ベースとなる米国金利が低下したこと等がプラスに寄与しました。その結果、新興国高利回り社債市場の利回りは低下しました。

【分配金を引き下げた各通貨コース(毎月分配型)の運用状況】

豪ドルコース

豪ドルは、豪州準備銀行(RBA)が政策金利を引き下げたこと等を背景に、豪ドルと円の金利差が縮小し、対円で下落しました。新興国高利回り社債市況の上昇等がプラスに寄与したものの、為替取引によるコストや、円高豪ドル安の進行等がマイナスに影響し、基準価額(分配金再投資)は下落しました。

ブラジルリアルコース

ブラジルリアルは、ブラジル中央銀行(BCB)が政策金利を引き下げたこと等を背景に、ブラジルリアルと円の金利差が縮小し、対円で下落しました。円高ブラジルリアル安の進行等がマイナスに影響したものの、新興国高利回り社債市況の上昇や、為替取引によるプレミアムの獲得等がプラスに寄与し、基準価額(分配金再投資)は小幅上昇しました。

資源国バスケット通貨コース

資源国バスケット通貨を構成する豪ドル、ブラジルリアル、南アフリカランドは、対円で下落しました。南アフリカランドは、南アフリカ準備銀行(SARB)が政策金利を引き下げたこと等を背景に、南アフリカランドと円の金利差が縮小し、対円で下落しました。資源国バスケット通貨に対する円高の進行等がマイナスに影響したものの、新興国高利回り社債市況の上昇や、豪ドルを除いた為替取引によるプレミアムの獲得等がプラスに寄与し、基準価額(分配金再投資)は小幅上昇しました。

アジアバスケット通貨コース

アジアバスケット通貨を構成する韓国ウォン、インドルピー、インドネシアルピアは、対円で下落しました。3通貨共に、中央銀行が政策金利を引き下げたこと等を背景に、対円の金利差が縮小し、対円で下落しました。

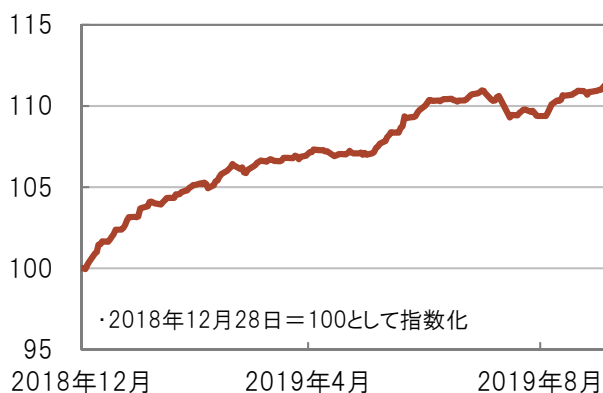
アジアバスケット通貨に対する円高の進行等がマイナスに影響したものの、新興国高利回り社債市況の上昇や、韓国ウォンを除いた為替取引によるプレミアムの獲得等がプラスに寄与し、基準価額(分配金再投資)は上昇しました。

(ピムコジャパン・リミテッドのコメントを基に三菱UFJ国際投信作成)(2019年10月4日現在)

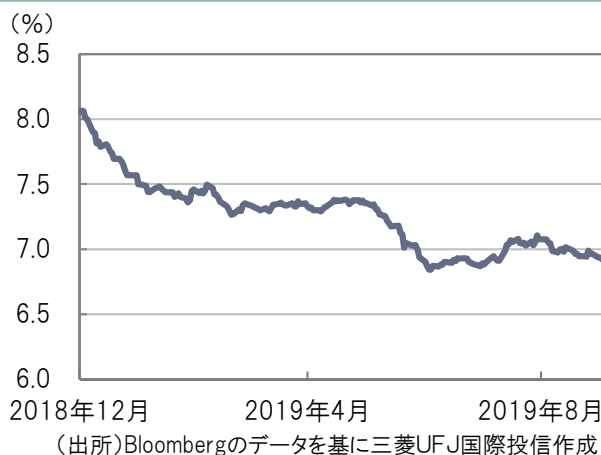
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ(毎月分配型)〈愛称:グローイング・スター〉

2019年初来の新興国高利回り社債市況
(期間:2018年12月31日~2019年10月4日)

新興国高利回り社債・指数(米ドルベース)



新興国高利回り社債・利回り



※新興国高利回り社債(米ドル建):JPモルガンCEMBIブロード・ノン・インベストメント・グレード

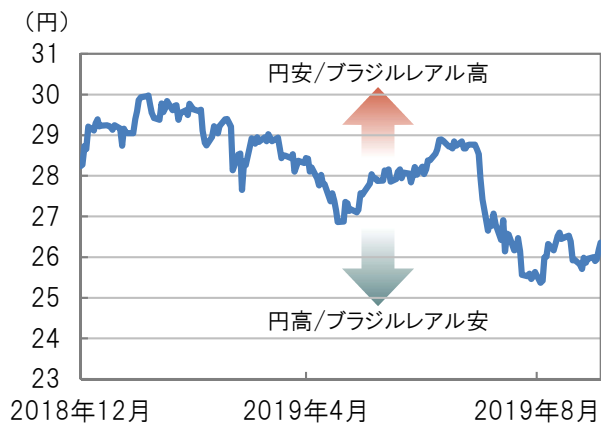
分配金を引き下げた各通貨コースの為替市況
(期間:2018年12月31日~2019年10月4日、対円)



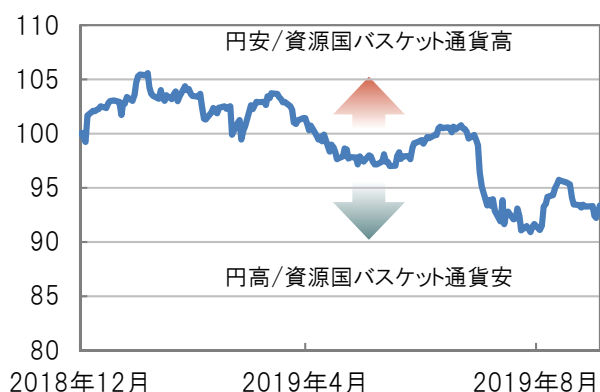
豪ドル



ブラジルレアル



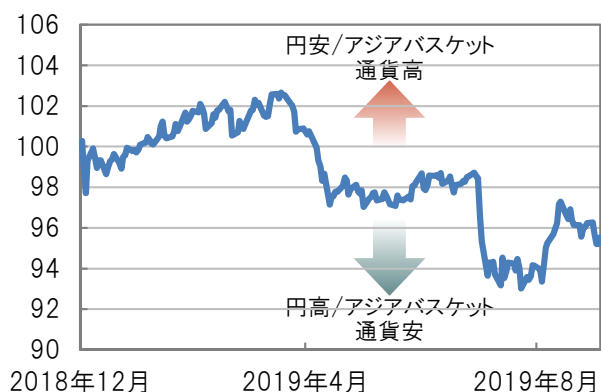
資源国バスケット通貨



※資源国バスケット通貨は豪ドル、ブラジル・レアル、南アフリカ・ランドの各通貨に3分の1ずつ配分し、2018年12月31日を100として計算しています。



アジアバスケット通貨



※アジアバスケット通貨は韓国ウォン、インドルピー、インドネシアアルピアの各通貨に3分の1ずつ配分し、2018年12月31日を100として計算しています。

(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ(毎月分配型)〈愛称:グローイング・スター〉

今後の市場見通しおよび運用方針について

【市場見通し】

世界経済は今後数四半期は脆弱な低成長期が続くものの、さらなる金融緩和を受けて2020年中に穏やかな回復に転じると予想しています。ただし、米中間の貿易摩擦をはじめとする政治的不確実性の高まりなどにより、景気が予想以上に大きく変動する可能性もあります。

新興国に関しては、インフレ圧力の落ち着きやバランスシートの健全化等に支えられ、ファンダメンタルズの改善が進んでいること等を背景に、相対的に堅調な成長を見込んでおります。また、FRB(米連邦準備制度理事会)が緩和的な政策スタンスに転換し、米国金利や米ドルの上昇圧力が緩和したこと等がエマージング諸国のファンダメンタルズを下支えすると考えています。一方、個別国の政策面でのリスクには、引き続き注意が必要と考えています。

【運用方針】

新興国への投資に際しては、先進国の金融・通商政策が各国に及ぼす影響やグローバルな産業動向などを考慮し、個別国間の差異に注目して運用します。各国の財政状況や対外収支状況を含むファンダメンタルズ分析などに基づき、投資対象国を注意深く選別します。ファンダメンタルズが良好な国の中では、安定した現金創出能力と国際競争力を有し、バリュエーション上魅力があると考えられる企業を選好します。具体的には、2019年5月に就任したゼレンスキー大統領の政策に期待が高まっていることに加え、国際通貨基金(IMF)によるサポートが続いているウクライナを積極姿勢とします。一方、対米通商政策で懸念の残る中国については消極姿勢とします。

(ピムコジャパン・リミテッドのコメントを基に三菱UFJ国際投信作成)(2019年10月4日現在)

■市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

当ファンド設定来の新興国高利回り社債の推移

(期間:2011年9月21日~2019年10月4日)

新興国高利回り社債・指数(米ドルベース)



新興国高利回り社債・利回り



(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

※新興国高利回り社債(米ドル建):JPモルガンCEMBIブロード・ノン・インベストメント・グレード

【本資料で使用している指数について】

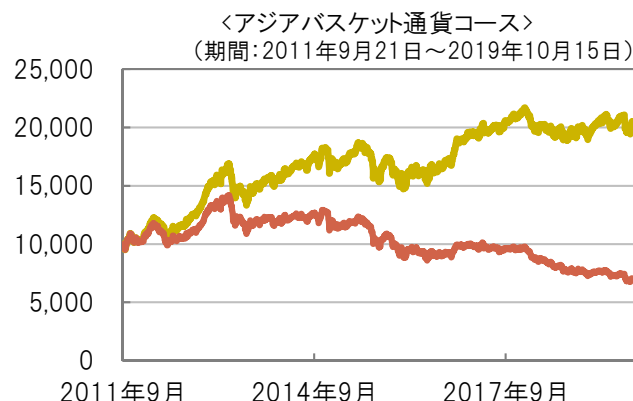
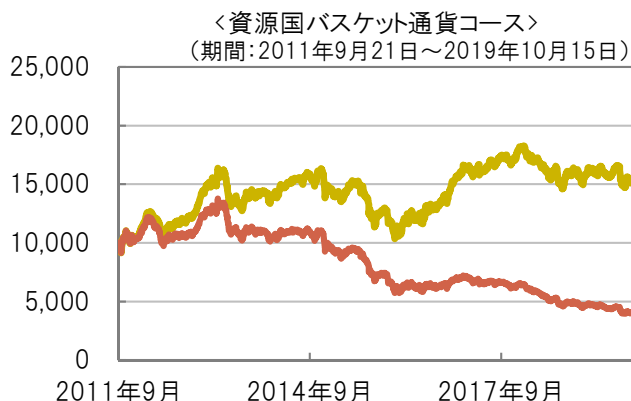
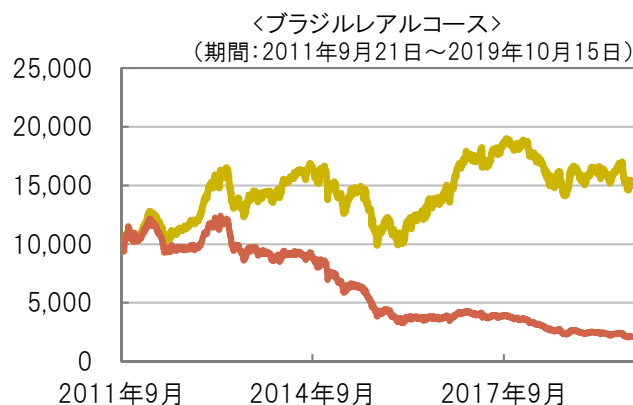
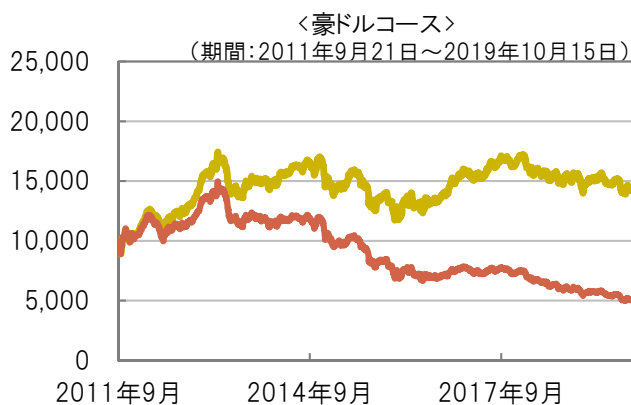
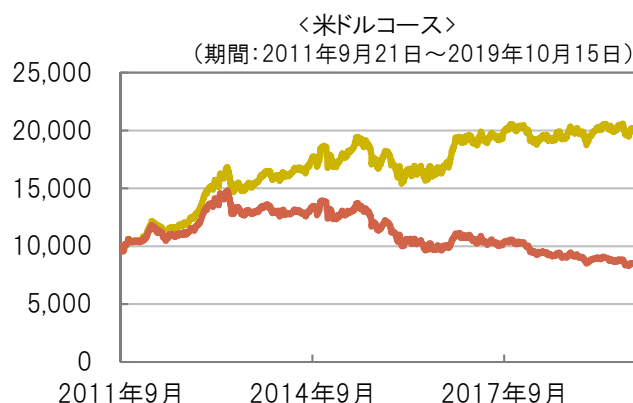
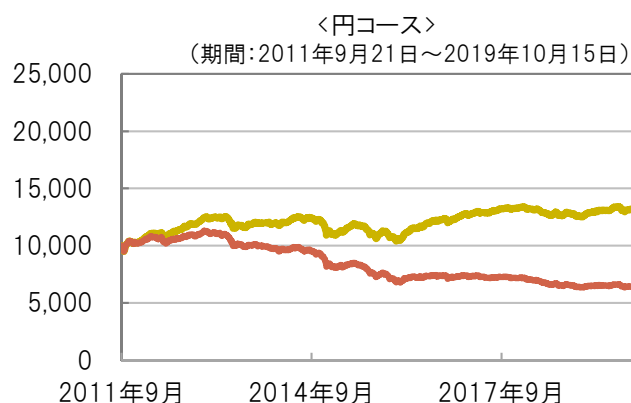
新興国高利回り社債(米ドル建):JPモルガンCEMBIブロード・ノン・インベストメント・グレード

JPモルガンCEMBIブロード・ノン・インベストメント・グレードとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、米ドル建ての新興国社債(非投資適格)のインデックスです。同指数の情報は信頼性があると信じるに足る情報源から得られたものですが、J.P.モルガンはその完全性または正確性を保証するものではありません。同指数は使用許諾を得て使用しています。J.P.モルガンによる書面による事前の承諾なく同指数を複製、使用、頒布することは禁じられています。Copyright © 2019 J.P. Morgan Chase & Co. 無断複製・転載を禁じます。

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

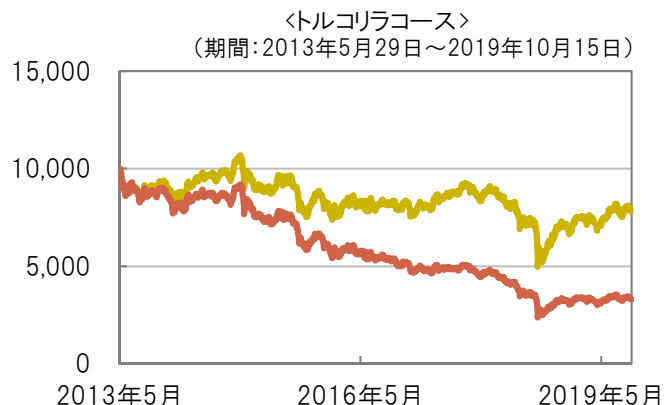
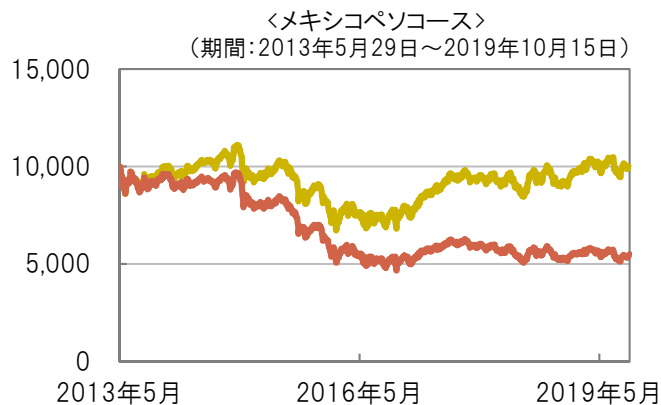
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ(毎月分配型)〈愛称:グローイング・スター〉

各通貨コースの基準価額の推移(設定日～2019年10月15日) ※マネープールファンドを除く



※ 資源国バスケット通貨コースにおけるバスケット通貨とは、豪ドル、ブラジルリアル、南アフリカランドを3分の1程度ずつに組み合わせた通貨のポートフォリオです。

※ アジアバスケット通貨コースにおけるバスケット通貨とは、韓国ウォン、インドルピー、インドネシアルピアを3分の1程度ずつに組み合わせた通貨のポートフォリオです。



— 基準価額(円) — 基準価額(分配金再投資)(円)

・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。・各ファンド(〈メキシコペソコース〉〈トルコリラコース〉を除く)は2011年9月21日設定。〈メキシコペソコース〉〈トルコリラコース〉は2013年5月29日設定。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。